

2023年度 人文・社会科学系大学院生のステップキャリア形成 Advanced COLA  
アンケート集計結果

日時：2023年8月9日（水）13:00～17:00

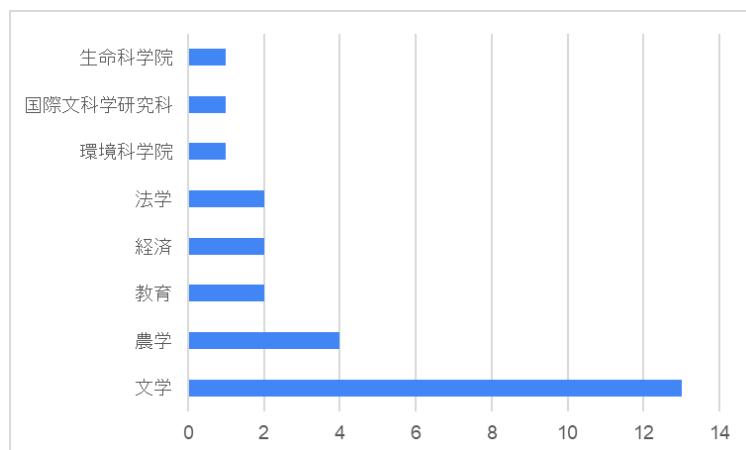
交流会 17:15～18:00

場所：学术交流会館 第1会議室

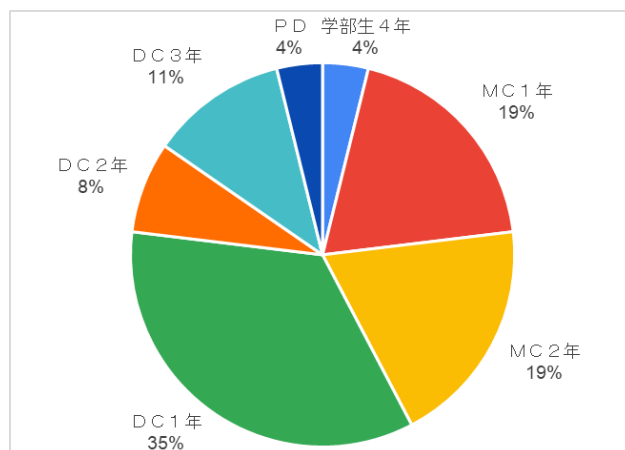
参加人数：32名（学部生1名、MC11名、DC10名、PD1名、他大学9名）

回答数：26件

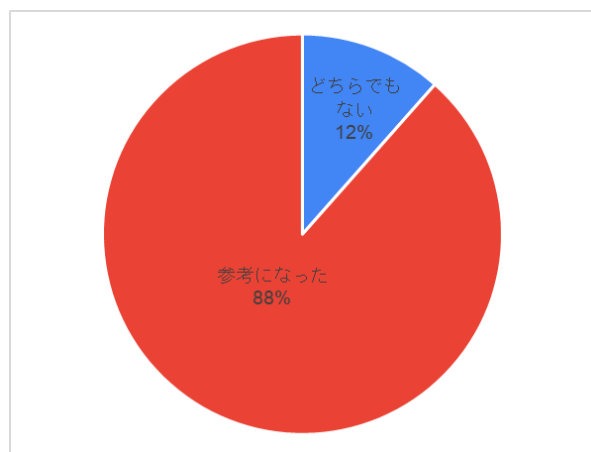
【所属】



【学年】



1.本セミナーはご自身のキャリアを考える意味で参考になりましたか？

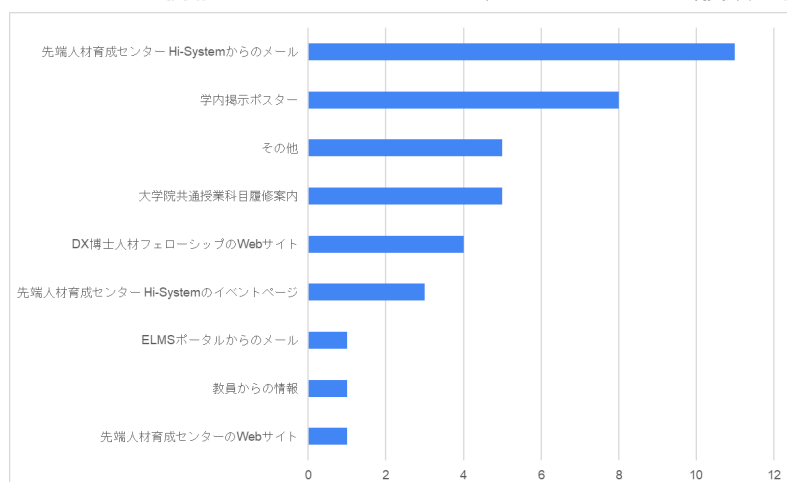


1で「参考になった」を選択した方：どの点が参考になりましたか？（具体的に）

どのようにして博士課程に進み、どのようにして就職していったのかのキャリアについて知れて参考になった。
博士課程で得たスキルをどうキャリア選択に活かすか
どのくらいの時期に、何を準備していたか等の就活に関するスケジュール
能力・スキル一致型の就職活動という考え方を手に入れることが出来たため。
就活を始めるタイミングや方法について
登壇者の方の就活にあたっての当時の思いや考え方を知ることができた点。具体的な進路や働き方の例を知ることができた点。

自身の今後の人生設計および今やらなくてはならないことに関して、改めて考えることができた。
なぜアカデミアではなく企業を選択したのかや、それまでの道りを詳細に話して下さった点。気になっていた点が知れてよかった。
就職活動をする時の注意点はとても参考になりました。
文系博士の一般企業への就職の全体像が分かるようになった点です。
博士進学を選択肢として考えており、アカデミア就職に不安を抱いていたが、博士卒でも民間企業で研究職として社会に貢献したり、直接自分の専門知識を生かせなくても自分の持っているスキルを適用させることで自分の軸に沿った進路選択が可能であることを講演者の方々の経験を交えながら話して下さった点。
博士課程修了後のアカデミア以外の所属と職務内容を知ることができた点
博士修了後アカデミア以外の道を選んだ人の話を聞いたこと自体がとても良かったです。民間への就職もかなり自分のなかで有力な選択肢となりました。
情報伝達が少ないのでこのようなセミナーはきっかけになるから
博士学生と民間企業をマッチングする活動が文系についても存在することが分かった点。インターンシップなど、直接的な交流の機会をもつことが重要であることが分かった点。
後期課程での経験を活かせる自分に合った企業・職種を見つけることができれば、アカデミア以外でも活躍する可能性がたくさんありそうだと知れた点
色々なキャリアの描き方を知ることができた点。
数少ない文系博士の先輩方の実際のキャリアパスやそれに関する生のお話を伺えた点。また、交流会で直接お話を伺えた点。
文系博士を経たあとの進路が、そのまま研究の世界に残る以外にも自分の経験を活かせる社会がある事を、何かの記事などではなく生の声で聞くことができた点。NTT 研究所に修士卒でも就職ができる可能性がある事を聞いた点。
博士課程後のキャリアについて具体的なイメージを掴むことができた
人文系博士課程経験者が非アカデミアにおいても発揮することのできる能力やスキル、またそれらの活かし方について、登壇者の方々の具体的なエピソードを元に知ることができ、大変参考になった。

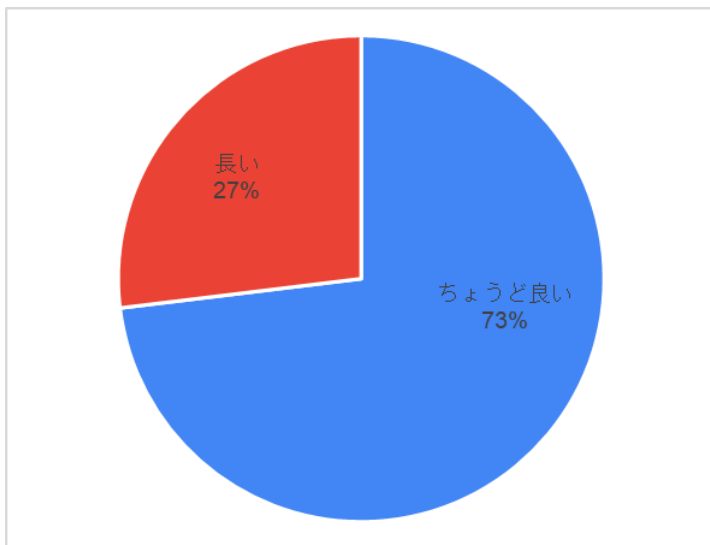
## 2.本セミナー開催について、どのように知りましたか？（複数回答可）



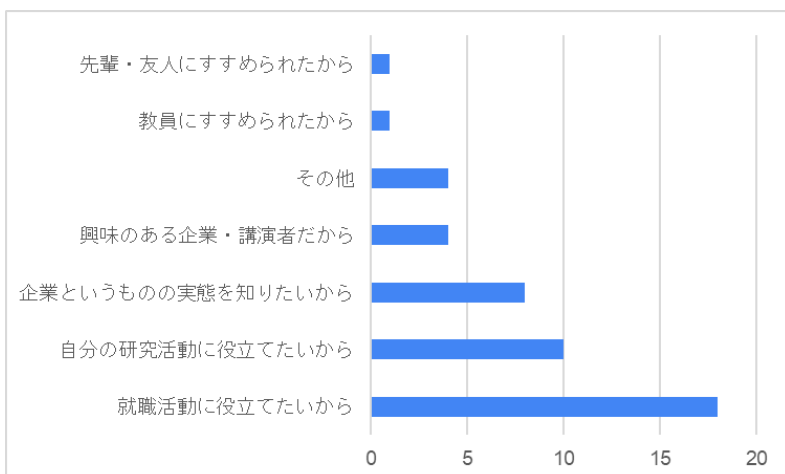
その他：北大内の団体からのメール、神戸大学キャリアセンターのセミナー、学内メーリングサービス、

PhDC 事務局（東北大学）からの案内メール、名古屋大学博士課程教育推進機構キャリア支援・教育部門 Web サイトのイベント情報

### 3.講演時間について

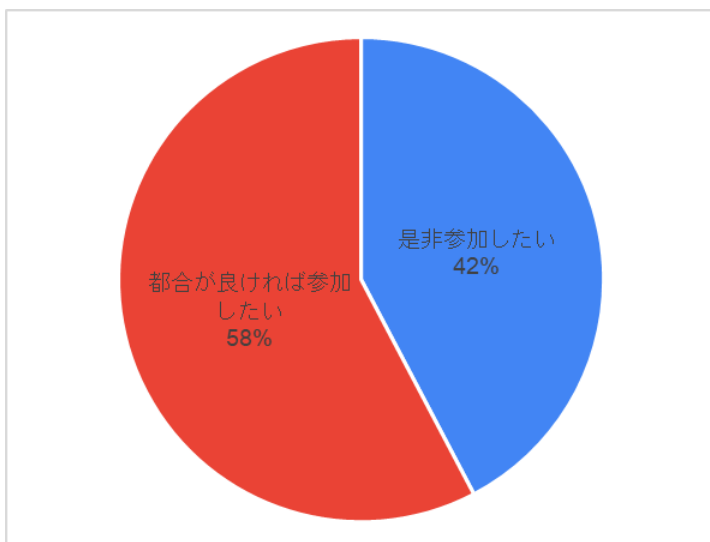


### 4.本セミナーへの参加理由（複数回答可）



その他：教養進化プログラム、アカデミア以外の進路を知りたかったから、今後の進路選択の参考にしようと思ったから、  
企業というものの実態を知りたいから

### 5.今後も Advanced COLA を開催する予定ですが、また参加したいと思いますか？



6. Advanced COLA をより良くするためのポイントを教えてください。

ほんの少しだけ空調が寒かったです。
もし、講義概要を事前に見ることができたら、事前質問をたくさん考えることができるかもしれないと思いました
今後もぜひハイブリット開催を続けてほしいです。
1, 2日前くらいに講演資料（スライドの PDF ファイル）を配信していただくと、最後の交流会の時に相談内容を整理してから望めると思った。（既に実施済みで私が気づいていないだけの場合は申し訳ございませんが、ご放念ください）
今より時間が短いとより良くなるのではないかと思います
さまざまな文系博士人材の事例をお聞きできればありがたいです（文学、歴史、美術、宗教…）
講座より交流時間をもう少し長めにしてほしいです。
非常に有意義でした。ありがとうございました！
仕事をどのように見つけたのか、準備期間や面接話がもう少し聞きたかったです。

7. 本セミナーについてのご感想、または主催の S-cubic へのご意見・ご要望など（自由にご記入ください）

理系博士には参考にならないのではなかろうかと考えていましたが、良い意味で期待を裏切られました。 開催していただき、ありがとうございました。また、お忙しい中登壇していただいたお三方にもお礼申し上げます。
オンラインで参加したのですが、匿名性に配慮いただけるとより良いと感じました。 チャットでの質問では匿名の質問にさせていただくなど。学名や所属など、個人情報を開示しながらの質問は少々抵抗があります。また、zoom 表示画面に関しても、ミーティングルーム入室時に登録されたメールアドレスを打ち込んでもらうという形であれば、表示画面において大学名およびフルネームを記載することなく、受講資格を有する者か否かを確認していただくことができるのではないかと感じます。 当アンケートに関しても、申し訳ないのですが、匿名性にご配慮いただけましたらより良いものとなるのではないかと思います。（せめて大学名のみを記載するなど）
初めて参加したが、講演者の方々が赤裸々に経験談を語ってくださったこともあり自分自身の悩みに当てはめやすかった。 北大の OBOG に限らず、文系大学院出身者で民間企業や公務員に勤務している方と直接話せる機会は貴重かつ有益なので今後も予定が合えばぜひ参加したいと思う。
博士課程在学中のお話ももっと聞きたいです
情報を探す場があり、とても良かったです。ありがとうございます。
文系博士学生を対象とした企画は理系と比べてごくわずかで、「国家も大学も文系博士学生に関心を払っていないのだろうか」と疎外感を感じていたところに、今回、文系中心の企画のお知らせをいただけて大変ありがたかったです。
自転車置き場のある会場ですと助かります。
事前のメールもわかりやすく、オンラインでも不自由なく参加することができました。博士課程を通じてそれぞれの専門知識やスキルをご自身の力にした講演者の皆さんは、お話する姿が堂々としていて、その内容も興味深く、おもしろかったです。私も博士課程に入ったからには、自分ができると言えることを増やしたいと思いました。 また、私の所属研究科では後期課程の学生があまりおらず、博論や就活・卒業後についての情報をあまり得ていなかったため、いろいろなことが知れて良かったです。
学生どうしが交流できるような会（軽食を囲みながら交流できる会など）があると、参加してみたいです！

先端人材育成センターの担当教員との面談、エントリーシートなどの添削、面接練習の利用について

